

学科名	電気通信工学科						
科目名	リメディアル数学演習						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年次前期		
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)/必修科目(電気エネルギーコース)/必修科目(情報システムコース)						
担当者	喜屋武 毅 / 中野 吉正						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・整式の変形ができる。(A1) ・分数式の計算ができる。(A1) ・簡単な方程式、不等式が解ける。(A1) ・簡単な関数のグラフが描ける。(A1) ・三角比がわかる。(A1) 						
日程と内容	04/10 導入講義 04/17 課外授業(宿泊研修) 04/24 分数式の分離・計算 05/01 関数と方程式(1) 05/08 関数と方程式(2) 05/15 弧度法, 三角比と三角関数の定義 05/22 三角関数と加法定理 05/29 逆三角関数, 三角関数の合成 06/12 指数法則と対数の性質, 指数関数と対数関数 06/13 中間試験(第1回) 06/19 指数・対数関数のグラフとデシベル 06/26 双曲線関数 07/03 総合演習(1) 07/10 総合演習(2) 07/17 定期試験(第1回) 07/24 中間試験(第2回) 07/31 定期試験(第2回)						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験	30%	部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	講義内容に関する演習については、達成目標のいずれの項目も概ね達成している。						
反省点	習熟度によりクラス分けを実施し、学力格差による弊害は少ないが、前年度との比較において、まだまだ数学な不得手な学生へのフォローに改善を施す余地があると考え。私が担当するクラスは、数学を苦手としている学生のクラスで、講義内容のフォローをしながら演習を実施している観点から、演習時間が不足気味である部分を自己学習などで補充する必要性を感じている。						
来年度の計画	次年度より「リメディアル数学」と「基礎数学」の内容を統合して、「基礎数学」となる。講義内容の削減予定はないが、授業内容をうまく統合・精査して、学生の理解度が深まるように授業計画を立てる。						
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価は8.1で前年度と同じ状況。学生の自己学習の時間が少ないので、ホームワークを課すなどして学力格差を埋めるための工夫が必要であると考え。学生の理解度を図りながらペースを変えており、内容は網羅しているので全体的には問題はないが、授業内容に興味をもってもらうように演習形式などの改善を図る必要がある。						
履修登録者数	66名	定期試験 受験者数	64名	合格者数	56名	合格率	88%